

糖尿病ワンポイントレッスン1

2003年9月 by D.M.T. (北陸病院糖尿病チーム)

血糖コントロールに使用されるお薬の話

血糖コントロールに最も効果があるのは、食事療法と運動療法です。ですがそれでもよくなる時はお薬を使います。北陸病院の糖尿病患者さんも色々なお薬をのんでいただいています。今日は血糖を改善するおくすりの話です。

1) 経口血糖降下剤

ダオニール : 1.25mg, 2.5mg

アマニール : 1mg

スルホニル尿素剤 (SU剤) に分類されます。

膵臓の細胞に働き、インスリンを分泌させる薬です。(また、筋肉でのブドウ糖利用を高め、肝臓からのブドウ糖放出を低下させる働きもあります。) 通常、1日1~2回、食直前又は食直後に服用します。

ファスティック : 90mg

食後の血糖上昇に対して速やかにインスリン分泌を促進し、血糖を低下させます。通常、1回1錠、1日3回、毎食直前に服用します。

2) 食後過血糖改善剤 (-グルコシダーゼ阻害剤)

グルコバイ : 50mg, 100mg

ベイスン : 0.2mg

腸で糖質をブドウ糖に分解する酵素の働きを抑える薬です。食後に血糖が急激に上がるのを防ぐことができます。

通常、1回1錠、1日3回、毎食直前に服用します。

3) その他のお薬

メルビン : 250mg

ビグアナイド剤 に分類されます。ブドウ糖の利用を高め、肝臓が糖をつくり出す作用を抑える働きがあります。通常、1回1錠、1日2~3回、食後に服用します。

アクトス : 30mg

インスリン抵抗性改善剤です。インスリンの効きを良くすることにより、血中のブドウ糖が筋肉や脂肪組織に取り込まれるのを助け、血糖を低下させます。



北陸病院では、現在ここに述べたお薬を中心に血糖のコントロールをさせていただきます。もし、わかりにくい点・ご要望などがありましたら、医師・看護師・薬剤師にお気軽に声をかけてください。